

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~ 21時		
市町村名	松川村	グループ名	1班	

要旨

地域高規格道路 / 松本系魚川連絡道路

松川村意見交換会 (第1グループ) の報告

第1グループの参加者は、第1日の10月2日は16人、司会者に さん、 さん(同)が決まり、記録は松川村職員の方をお願いすることとなりました。第2日の10月19日は10人、第3日の11月7日は11人の出席で、司会は2人で交替で行いました。

第1日は、まず、自由に発言をしてもらい、

「松本や塩尻へ行くのに大変な時間がかかってしまうのでぜひ道路を整備して交通の便を図ってほしい。」「村の発展を考え、道路は産業文化の通り道である。地域を守るには道路が必要だ。」「この安曇野に観光などで来る人が増えるし10年や20年先のことを考えれば必要であるのではないか。」などと将来の子供達の利用という点や、車社会がより進むと思うので(道路は)必要ではないか」との意見が出されたが、これらの論は「良い道路が欲しい」「渋滞の解消が望ましい」「環境にデメリットのあること、充分配慮して工事を」ということであった。

「長野県は財源に大きな赤字があるのだから、もう少し検討しなければならない。大町より北は整備は必要だが、大町から南への道路はいらぬ。」という意見もあり、「道路が出来ることによって活性化が逆効果となってしまう地域・商店街が出てしまう。道路を作ることによって町が壊される。」「道路を作って本当に私達のためになるのか。」という疑問も出され、「安曇野に来る人は自然を見に来るのだから自然を破壊してまで作る必要はない。今ある道路を整備するために財源を使ってほしい。地下水等にも被害が出る。皆さんが賛成反対ではなく、1から戻って考えて欲しい。」「長野県は財政の赤字が全国ワースト2であり、道路が新しく出来ると、県や村の維持管理が大変になる。財源のことを良く考えてほしい。絶対必要である道路でも今は作るべきでないくらいだ。大北の道路はオリンピック以来、補修・整備が進んで以前とは大いに違う。これを考慮して考えるべきだ。」「子供達のために道路を作ってほしいと言っている人もいるが、その財源を逆に子供達の教育費などに使ってほしい。今ある道路を整備すればいいことだ。自然をこれ以上なくす必要は無い。道路は財産にならないという意見もある。」

「問答集を見たが、内容は作ることを前提に作成されている。県の考えはどうか。問答集の出所をはっきりさせて下さい。問答集作成費はどこからか。」という質問があり、ほかの人からも説明を求められ、3日目に、県から「あれは大町市道路建設部に事務局のある期成同盟(会長は腰原大町市長)が作った。県はタッチしていない。」と答えた。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	～	21日(水) 21時
市町村名	松川村	グループ名	1班

要旨

2日目には、更に、県側から「路線選択資料」の説明があったが、「大町以北については触れておらず片手落ち」で、交通量調査も平成6年のもので、古いし、特に長野オリンピック以前のものでは現在と全く違って資料にならない」と指摘があったが。県からは「修正したものはない」との回答のみだった。

また、「県は白紙というが、計画路線に指定されており、堀金～大町が調査路線にもなっているのだから、全く白紙はおかしい」「県はこの意見交換会をどう考えているのか」という疑問が出され、これに対し十分な回答が県からは寄せられたとは言えない。

2日目、3日目の参加者からの意見は、更に、「道路ができるメリットは?」「工場誘致は難しいのではないか。」「工場でなくてもサービス業でも、なにか明るいものが欲しい。」があり、「どういう道路が?」と言う疑問に、「車専用、高規格道路。」ということが主張されたが、どこに作るか?は、高瀬川堤防道路について、県から「川の方への道路を広げることは出来ない。」「なぜか?」「河川の洪水時の流量を考えて」「事情が変わって流量も減っているようなので考えて欲しい」などの応答もあったが、「両側に一車線づつでも作れないか?」と言う案も出た。

「渋滞と言っても都会などとは比べ物にならない。」「この財政の厳しい時には、現在の道路の改修が犠牲になるのではないか。」「お金のことを考えないのは無責任だが、道路は欲しい。」「大町以北からは当然だが、部分的に整備してもだめだ。つながっていてこそ最高の必要性がでてくる。」などが出され、「転入者に反対が多いようだが、地元とで農業を営むものとしては生活道路と違う車専用道路があったらと思う。」「昔から切望していたのだから、是非高規格道路が欲しい。」「農村や田園風景を壊すような道路は不要だ。どうしても作るなら堤防道路を活用すべきだ。」「更に多くの意見を聞くべき。アンケートも必要だ。」との意見もあり、「前にも述べたが、意見交換会が県の行政にどう反映するかをハッキリしてもらいたい。」との声も出された。

以上 11月17日

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~ 21時	グループ名	2班
市町村名	松川村			

要旨

質問

- ・このような会が計画にどの様に反映されるのか、道路を作る方向で進んで行くのか、中止ということもありうるのか。
 - ・道路はどの程度の規模なのか
- 回答：片側2車線のような
- ・国、県共に財政が厳しい中で道路を作る必要性があるか。経済効果を期待するのであれば、無理があるのでは。
 - ・道路が出来た場合現在の道路の維持管理はどうなるのか。結果的に負担増に成るのではないか。0ベースと言いながらルート案など進んでいるがこの道路は国営公園とリンクしているのか。
- 回答：区間決定した訳ではない。これまでの、計画調査経過を示している。

賛成

- ・就職する場所など無くなり地域が寂れて行ってしまう気がする。農地荒廃も考えられる。人との物の物流を道路を引いて進める必要がある。
 - ・高規格道路は(地域の)活性化に役立つと思う。
 - ・自然は大切だと考える。しかし、人は生活して行かなければならない。
小谷の災害を見ても、道路鉄道が寸断されると困る。主要道は、必要と感じる。ジャンクションも1箇所だとしたら左岸(池田側)ではなく右岸にと考える。工場誘致にもつながる。産業発展には必要。
- 回答：ジャンクションについては、現在0箇所と言うことで決まっているわけではなく意見の中で検討してゆく。
- ・大北全体を考えると雪害などに対して、他地域に比べて立ち遅れていると考える。早期実現を願う。高速出来たおかげで県外からの観光客が増えている。パターゴルフの利用者はほとんど県外者。
 - ・経済効果が無いとは言い切れないと思う。通り過ぎてしまうと言うのではなく、降りてもらえる魅力ある村にするのがつとめでは無いかと思う。こちらについても不便を感じる。農業についても米作ばかり。農業所得も少ない。後継者もいない。
 - ・今日分速の時台を考えるのではなく、次の時台を予測しなければならない。大事業のチャンスを逃す。村も28億かけて文化施設、2億かけて公園整備といっているぐらいである。
 - ・道路により交通の便が良くなる。運送業務の恩恵は大きい。
 - ・白馬以北が必要性が高いのでは。

慎重

- ・松川以外の地域にも目を向けて関係地域にとってメリットがあれば作っても良いのではないか。
- ・松川以北の広域的な視野から道路を作るべき。
- ・松川の環境の保全の方が大切ではないか。
- ・仮に池田側に、道路が出来れば後で後悔をすることになるのではないか。
- ・小谷村に国道を拡幅するか、新道が必要だと思う

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~ 21時		
市町村名	松川村	グループ名	2班	

要旨

反対

- ・説明(経済効果、国営公園についてなど)を聞くと白紙だと言いながら道が開くように想定出来る。(既定の事実として認知させようと言う意図が感じられる。)

高速道路と同規模であり、村に永続的な経済効果が有るとは考えられない。逆に観光客、スキー客等お金を落とす人達が通り過ぎてしまう。

生活道路の改良整備で十分だ。オリンピック道路を整備する際にどうしてもっと広くしなかったのか。
- ・賛成する人の意見を聞く中で判ったことは2つある。

一つは、将来必要。

もう一つは、建設案から見た仕事の面。
- ・災害に強い高規格道路ではなく、災害に強い生活道路の方が必要。生活道路は別問題だとして議論から外すのはおかしい。賛成者は、もう少し整理して意見を聞かせてほしい。村(県)外者は、安曇野を不便とは思っていない。自然を壊し、自治体の借金を増やし、少しばかり都合が良くなっても意味があるか。
- ・この意見交換会に参加した70人の意見が、村民の総意とされるのは恐ろしい。
- ・大北北部から豊科にすることが必要か。長野-糸魚川へのルートも考えられるのではないか。利便性を追求し、600兆円を超える借金。農業も厳しい状況。松川村は農業の地域。村は農業が必要。経済効果があると言っても、豊科IC周辺の店舗を見ても都会の資本ばかり。地元資本は、一店舗しかない。
- ・高速が有ることで地元住民は、小回りが出来ず不便になる。旧道となる地元商店にはマイナス。自分達の世代で返せる借金なら良いが、次世代に残してしまう。それは良くない。

まとめ

- ・現状では賛否の立場の違いを埋めるような議論は出来なかった。
- ・現状の社会情勢では、事業を行うにあたり採算性を十分考慮する必要がある。
- ・道路が整備されれば、地元で経済効果があるというような短絡思考で進めるべきではない。
- ・地元の業者の生活が成り立つような、長期的な投資計画が必要である。(大手が吸い上げるような計画大規模投資ではなく、地元業者が育成されるような小規模な投資に切り替えるべきである。
- ・南北バランスを考慮した投資計画になっているか疑問である。(南信の人の意見を聞くべきでは)
- ・観光客の消費動向を十分把握するような作業が必要ではないか。観光資源を有効活用出来るような投資計画を導入するべきである。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~ 21時	グループ名	3班
市町村名	松川村			

要旨

地域高規格道路松本系魚川連絡道路
松川村意見交換会 第3グループの報告

私たちのグループは開会当初に建設事務所長さんが、何度も言われたように、高規格道路に対して、単に、賛成とか反対という態度表明でなしに、高規格道路が仮に造られるとしたら、具体的にどのような問題があるのか、松川村の実態に立って、問題を出したり、意見を出すということで「意見交換」を進めてきました。

討論に先立って、グループとしての課題を持ったらどうか、という意見も出されましたが、いろんな観点から意見交換がなされることが望ましいという全体の確認のもとに意見交換が行われました。

三回の交換会が行われ、出席は13人、13人、9人でした。以下5項目に分け、各自の重要な意見も出来るだけ記述したいと思います。

1 安曇野の自然・景観について

- ・ 安曇野の自然を大事にしてもらいたい。大気汚染と塩カル等の被害は甚大である
- ・ 開発による自然の破壊が懸念される。扇状地の保護も視野に入れて欲しい。(特に西山方面は絶対守ってほしい)
- ・ 私は小谷の方まで、しばしば行くが安曇野の原風景として残っているのは、今や松川村と大町市常盤の一部である。日本の故郷ともいえるこの風景は絶対に守って行かなくてはならないのではないか。
- ・ よく自然を破壊しないで、或いは環境を守りながら、ダムを造る、道路を造るというが、そんなことはあり得ない。
- ・ 道路は必要ないというのではなく、環境に良くないので造ってはいけないという意見である。環境に良い道路の造り方などない。
- ・ 安曇野の自然景観を絶対に守って欲しい。松川村の扇状地は、日本でも典型的なものであり、複雑な水脈などが、解明されていない。西原地区では、この地に井戸を掘り、現在も利用しているが、ここに道路を通すということはもってのほかである。信大の地質の先生を呼んで堀金村から大町に至る西山山麓の調査研究をしたが、もし扇状地に高規格道路を通すということになるなら、大地そのものを破壊し、自然は取り返しのつかないものになる。今は果樹園が作られ、優良農地である松川村を駄目にしてしまう。
- ・ 環境破壊によるリカバリーの費用も大きい。
- ・ 私がこの村に住所を決めたのは、美しい安曇野に心からあこがれて来たのです。ここを高規格道路が通るなんてとても考えられない。
- ・ 高瀬川左岸(池田側)には大町から明科にかけては貴重な蝶が生息しておりその食草もある。絶対に大型の道路などは造って欲しくない。
- ・ 景観を大事にすべき。将来を見据えた構想をしたほうがよい。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~ 21時		
市町村名	松川村	グループ名	3班	

要旨

2 高規格道路は必要か

- 松川村では、「高規格道路対策特別委員会」(議員全員)で「国に対して調査区間の変更申請をするべきであるとの松川村の態度を明確にした。その理由として、「安曇野らしい景観を損なうことへの危惧の声が高まり反対運動へと発展したということ。」「田中県政が発足し、知事が見直しを表明」したことをあげている。
- 県道・村道でも改修して欲しい箇所さえ行っていない現状でこの高規格道路を造って維持管理はどうになってしまうのか。新しい道路による旧道の管理はどうなっているのか。この道の協議会は村として負担金を払っているのか。
- 扇状地としての役割を壊してしまうのではないか。その点で掘削した道路は無理ではないか。また造るにしても北から建設してはどうか。
- オリンピック道路から山麓線まで4キロ、そこに現在4本の道路がある。松本に入る際の渋滞はあるが、松川村としては十分。しかし、生活道路は、補修して欲しい。
- 直接、通る人の意見を聞くべきだ。
- 北の小谷村はトンネルしか通せないが、建設費が膨大である。
- 必要性がもっとも大事ではないか。田園風景は残した方がよい。環境への影響も十分ある。断層との絡みも考慮すべきだ。
- 新潟の道路との利便性の差があり、既存の大型道路の改良で良い道が出来るのではないか。

3 財政について

- 投入される建設費には県民としても非常に多い借金を抱えることになってしまうのではないか。
- 5億円以上の工事について県の発注の約7割が県外業者に発注。県内の土木業者の検討が必要。
- 1キロ当たり30億から50億かかると言われている。100キロというと5,000億。この不景気の時に国も県も出せるのか。
国庫補助事業の場合 国1/2 県1/2
直轄代行業業の場合 国2/3 県1/3

4 今後の方向、問題点

- 「調査区間」に指定されるまで、我々一般住民には、計画が発表されなかった。現在も高規格道路について、知らない人がほとんどといってよい。交換会に参加した80人で村を代表する意見といえるかどうか。その意味でこれからも皆で話し合っていくべきだ。意見交換会が終わったから、それで終わりとしてはならない。地区懇談会で話し合うなど、考えていく必要があるのではないか。
- 合同会で終わりにすれば今まで違うベースで考え話し合ってきた事の意義がない。
- 急ぐ必要はなく、2年3年かかっても考えていくべき。
- 意見交換会は、白紙に戻してゼロベースとして考えて良いのか。足踏み状態なのか。位置付けて欲しい。
- 国営公園のための道が今山の中に造られているのか。二重になっている。無駄ではないか。景観もなにもない。高規格道路、公園それぞれの道も造る必要があるのか。
- 交通渋滞の問題を考える必要があるかもしれない。
- 信号が交通渋滞の問題ならば、それを考えていけば良いのでは。松本市の交通渋滞に関しては道を大きくしても駄目。道路を多くしても車量が増えるだけ。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~	21時
------	------------	-------------	-----

市町村名	松川村	グループ名	4班
------	-----	-------	----

要旨

高規格道路意見交換会 松川村第4分科会の意見集約について

上記第4分科会では、10月2日と19日の2回にわたって意見交換会を行い、次のような意見でほぼ一致した。

記

「高規格道路」の是非については、「賛成」「反対」「条件つき賛成」などあり、意見は一致しなかった。

1. 糸魚川から長野自動車道に通ずる安定した道路は必要です。(特に小谷地域での災害による交通手段の寸断の解消)
2. 「高規格道路」という一定の規格にこだわる必要はない。
3. 道路整備に当たっては、大町以北から実施することが望ましい。
4. 現在決定している波田町を起点とする計画路線並びに堀金村~大町市間の調査区間の設定はいったん白紙に戻し、高瀬川堤防道路を利用する路線を再検討すること。
5. 大町市以南については、基本的には現在の道路を利用して拡幅・改良(立体交差等)により、渋滞の解消に努めていただきたい。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	21日(水) ~ 21時	グループ名	5班
市町村名	松川村			

要旨

第1回意見交換会要旨

- A氏：市町村で温度差がある。大町以北を整備すべきという議会の意見がある。総体的には道路は必要。どうしてここが調査区間になったのか。
- B氏：建設業が低迷している。建設事業の拡大が必要では、それから福祉へといけば、環境への配慮を。
- A氏：通過車両と生活車両を区別できる整備を。北をやれば南も整備も必要とする。
- C氏：村の将来を考えるものであってほしい。
- D氏：道路は地域経済の活性化。道路は必要である。
- E氏：神戸原扇状地に通ることは水源の問題等反対である。もっと生活道路に重点(サイクリングロード等)おくべき。弱者に配慮を。高規格道路はどれだけメリットがあるのか疑問だ。心配の方が強い。堤防は高規格道路の規格に合わない、利用される道は必要か。
- F氏：これだけの道があれば十分だ。莫大な予算を投資するより福祉・教育方面に使っては。
- G氏：大町以北の整備を「冬期等の問題」。
- H氏：賛成である。山麓線は現在、生活道路ではない、よって区分することが必要だ。予想交通量の質問あり。
- I氏：大町市以北は1本しか道がなく、必要である。波田町は渋滞がある。危険地域もあり、相対的には賛成であるがどうか。
- J氏：陸の孤島である道路が人やお金を流す。よって道路に期待したい。
- K氏：大町以北から整備を。
- G氏：道路は必要。農免もなんで建設されたのか疑問に思ったが、今はよかったと思う。道路は地域の活性化。環境に配慮した自然との調和した道路ができないか。
- L氏：大町以北の渋滞、災害を経験し、整備をお願いしたい。

第3回意見交換会

- C氏：第1回目の意見交換で出された意見を中心に発表したい。
- H氏：高規格道路を高瀬川左岸をとおすと南安はメリットがない。もし左岸を通す場合は、国営公園を結ぶ専用道路を作ってほしい。
- B氏：高規格道路には、路線バスを運行して、そのバス停から役場、駅などを結ぶ無料バスをお願いしたい。
- J氏：「道路なくして繁栄なし」と思う。是非作ってほしい。
- M氏：本当に必要としている大町以北は必要で、大町以南はいらない。
- L氏：車社会の今、道路は必要だと思う。

提案「アクセス道路は地域の要望を取り入れ使いやすい道路を作ってほしい」